



碧の風

千葉市立川戸中学校

校報 第5号

令和6年8月29日

ウェルビーイングを高めよう

456928

豊川 ますみ

今年の夏休みは部活動の総合体育大会から始まり、各会場に応援に行きましたが、どの試合も最後まであきらめずに精一杯がんばっていた姿に感動しました。結果はそれぞれですが、チームワークや日頃からの努力の大切さは誰もが感じたことでしょう。

そして、今年はオリンピックイヤーです。パラリンピックはこれから開催されますが、様々なドラマや感動が生まれました。思いがけず見入ってしまったのがスケートボードです。女子ストリートでは14歳の吉沢恋選手が金（1位）、15歳の赤間凛音選手が銀（2位）に、男子ストリートでも堀米雄斗選手が金（1位）を獲得しました。結果はもちろん素晴らしいのですが、私が感動したのは2つの場面です。1つめは選手同士がライバルでありながら、競技が終わるたびお互いにたたえ合う姿です。2つめは、堀米選手が決勝の時に見せた、最後まであきらめずに挑戦し続けた姿です。追い詰められた状況でも果敢に勝負に立ち向かい、最後のチャンスを成功させ、金メダルを獲得したときのあの表情は忘れられません。他の競技を見ていても、勝ち負けだけではなく、やり切った時に味わえる満足感で満たされる選手の姿が多く印象に残りました。

さて、皆さんは心が満たされ幸せを感じることがどのくらいあるでしょうか。OECDが行ったPISAという国際調査があります。その結果を見ると、日本の中高生は学力面ではトップクラスなのですが、幸福感の現状は最低レベルにあるというものでした。幸福感など心が満たされる気持ちを広くとらえたウェルビーイング（Well-being）という言葉が最近よく耳にします。

ウェルビーイングは、①心身ともに健康であること、②楽しい・おいしいなど心地よいこと、③努力したり貢献したりして得られる充実感 という側面をもっています。ウェルビーイングを獲得するために必要な力は、好奇心や創造性、自己調整力とともに、他者のアイディアや見方、価値観を尊重したり認めたりすること、また、失敗や否定されることに対処したり、逆境に立ち向かって前に進んでいく力です。これらの力をつけるためには、人と人とのつながりを大切にして、友達や家族、地域の人々など多様な他者と関わり合いながら学ぶことが大切です。オリンピックの選手たちも、自分の成功だけを考えて競技しているのではなく、お互いに認め合い、高め合うことでウェルビーイングを獲得し、私たちに感動を与えているのではないかと思います。

学校教育目標のサブテーマにも「高め合う・助け合う・認め合う」とあります。これは、ウェルビーイングを高めることにもつながります。夏休みが終わり、これから定期テストや合唱コンクールなど様々な活動が始まります。みんなのために頑張ることができれば、自分も成長し、ウェルビーイングを高めることができると思います。様々な人と関わりながら活動していきましょう。

表彰を行いました

7月13日（土）から千葉市中学校総合体育大会が開催されました。今年も気温が高く、厳しい天候状況での実施となりましたが、多くの方の応援をいただきありがとうございました。3年生がこれまで中心となり、頑張ってくれた活動を、今後は2年生を中心にした新チーム、新体制で引き継いでいってほしいと思います。

女子バスケットボール部	千葉市 準優勝（県大会出場） 千葉市中学校バスケットボールベスト5
健歯生徒 3A	
3B	
野球部	千葉市優秀選手賞

夏祭りが行われました

夏季休業中の8月11日（日）、川戸中学校のグラウンドを会場に川戸地区夏祭りが行われました。昨年度は、当日が大雨となりましたが、今年はとても天気がよく、多くの方が来場されていました。やぐらを囲んでの盆踊りと太鼓の演奏、小学生を中心とした



子ども神輿の練り歩きなど、いろんな年代の方々が楽しんでいるのがとても印象的でした。また、会場を囲むように、皆さんが顔なじみの地域の方々や保護者の方々が多くのお店を出店していました。川戸地区の子どもたちが、とても楽しそうな表情で参加していたのが印象的な夏祭りでした。

部活動地域移行について

昨年度に引き続き、千葉市教育委員会からの指定を受け、本校の卓球部で8月より部活動地域移行の実証事業が始まりました。昨年度とは、異なる会社が担当するので、休日の指導者は、昨年度までの指導者とは異なります。

しかし今年は、平日に指導してくださる部活動指導員もいるので、専門的なアドバイスを複数の指導者から受けられ、技術を習得する機会が増えています。この機会をしっかりと活用して、卓球部の皆さん頑張ってください。

交通安全について

夏季休業が終わり、学校に登校してきた生徒の表情は、いろいろな表情が見られました。「宿題終わった？」「テスト勉強した？」「久しぶりにみんなに会えた！」など色々な会話が飛び交っていましたが、一番多いのは「もう夏休みが終わっちゃった…」でしょうか。どんな会話にしても充実した夏季休業をおくることができたから、充実した表情を見ることができました。

こうした生徒の表情が見られたのも、夏季休業中に大きな事故もなく、過ごすことができたからでしょう。しかし、千葉市では現在、小・中学生の交通事故が例年以上に多く発生しているそうです。9月には秋の交通安全週間となりますが、外出時、夏季休業中と同じ時間でも暗くなり、車のドライバーや自転車の運転者からは、見えにくくなる時期です。事故原因で多いものは「飛び出し」「安全不確認歩行・走行」によるものだそうです。もう一度、交通ルールやマナーをご家庭でもご確認ください。

